

東京大学の人工知能研究に関する懇談会（東京大学 AI 懇談会）について

次世代知能科学研究センターは 2016 年に設置され、東京大学の多くの部局が参加する連携研究機構として、現状の人工知能技術の枠組みとその限界を超えて、次世代知能科学の推進、知能社会将来ビジョンの提案、人材育成に取り組んできています。

一方、Beyond AI 研究推進機構は、東京大学のソフトバンクによる Beyond AI 連携事業の中核組織として 2020 年に総長室総括委員会の下に設置され、最先端 AI 研究および他分野との融合研究を推進し、新たな学術分野を創出するとともに、研究成果に基づく知財をもとに事業化を目指して活動してきています。特に融合研究に関しては、物理と AI、脳科学と AI、社会と AI の分野において具体的な成果をあげつつあります。

また、ニューロインテリジェンス国際研究機構、カブリ数物連携宇宙研究機構（特に設置が予定されている Center for Data-Driven Discovery）、理学系研究科の知の物理学研究センターなどでも、諸分野と AI の融合研究が活発に行われています。次世代知能科学研究センターにおいても、たとえば哲学と AI、宇宙開発と AI に関するシンポジウムを開催するなど、融合研究に力点を置いているこというまでもありません。

しかしながら、各組織にはそれぞれの設立の経緯があり、人工知能研究に携わる組織の間の連携の余地は大きく残されていると考えられます。組織上の制約も多くあり、それゆえ円滑、柔軟な連携が滞る場面も見受けられます。

以上の状況の中で、東京大学全体の人工知能研究の将来ビジョンを策定し、その中に Beyond AI 研究推進機構等各組織の研究を位置付けるべきとの意見が各所より強く出て参りました。このことについて、國吉センター長と萩谷 Beyond AI 研究推進機構長との間で状況認識を共有し、東京大学の人工知能研究のマップを作成すること、その上で、東京大学の人工知能研究の将来ビジョンを描くこと、などが重要との認識で一致しました。

これを受けて、以下の構成の「東京大学の人工知能研究に関する懇談会（東京大学 AI 懇談会）」を発足しました。懇談会の目的は、以下のよう設定しています。

- ① 東京大学の人工知能研究に係る各組織における研究の理念、目標、これまでの研究成果と現状についてご報告いただく。
- ② 以上の報告を踏まえて、東京大学における人工知能研究のマップを作成する。
- ③ マップを踏まえて、東大としての AI 研究のビジョンを策定し、その中での各組織の位置づけるとともに、連携の可能な形を検討する。

マップとビジョンの策定は委員の先生方をお願いしています。人工知能研究に携わる方々に必要に応じてオブザーバをお願いし、ご意見を伺います。アドバイザーの方々には、将来的な組織変更などの可能性が生じた際に、アドバイスを伺うことを考えております。

東京大学の人工知能研究に関する懇談会（東京大学 AI 懇談会）

（委員）

次世代知能科学研究センター

國吉康夫センター長 --- 座長

原田達也教授（部門長）

伊庭斉志教授（部門長）

合原一幸教授（部門長）

松原仁教授（部門長）

河添悦昌特任准教授（医学 AI 専門家）

ニューロインテリジェンス国際研究機構

合原一幸副機構長

カブリ数物連携宇宙研究機構

横山広美副機構長

知の物理学研究センター

樺島祥介センター長

Beyond AI 研究推進機構

萩谷昌己機構長 --- 世話人

齊藤英治教授（研究リーダー）

原田達也教授（研究リーダー）

板津木綿子教授（研究リーダー）

大木研一教授（研究リーダー）

情報基盤センター

田浦健次朗センター長

数理情報教育研究センター

駒木文保センター長

（オブザーバ）

人工物工学研究センター実践知能部門

松尾豊教授

総合文化研究科科学史・科学哲学研究室

鈴木貴之教授

（アドバイザー） --- 2022 年 10 月の懇談会設立時

国際高等研究所

相原博昭所長（東京大学理事・副学長）

情報理工学系研究科

須田礼仁研究科長

工学系研究科

染谷隆夫研究科長

（事務）

Beyond AI 研究推進機構

運営部

次世代知能科学研究センター

事務室